

西陣織物労働組合案内

昔は随力者の強ければ、避んで登壇に就いて行けたもの。ところが今は立派な警察や法律隊が出来る、もはや腕力が利がなくなつたが、其の代り幾何程くとも、金さねわれば、馬鹿や氣遣でさえ大に面して金の無い者を辱めて何んか登壇でも出来る。變な世の中であり金の無い我々労働者は始終登壇中から辱められ辱められねばならぬ様になつた。殊に先年のかの不景氣の時程は、平業我々を散々ノキ使つて涙り腹を肥やした資本家連中は、イザ不景氣となるや、忽ち勝手氣儘に賃金を引下げ、上旬の果は兎介物でも連擲人様に突き放してつたのである。これ等の事は必ず諸君の腹腸に沁み切つてゐねばならぬ筈である。こうして我々労働者が、日夜汗と涙を流して稼いでても、何時も金持から苦しめられて録々食ふ事も着る事も出来ず、實に生き甲斐のないシマツタ生活しか出来ぬのは、それは我々の間に未だ完全な労働組合が無からでである。我々が現在の如く互にバラバラに離れて居るに、皆が一ツに固まつて立派な労働組合を作れば、幾何金持や資本家が勝手氣儘な振舞をしようとしても我々の團結の力に依つて完全に自分達の権利と自由を保護し、互の幸福を圖る事が出来るのである。然るに若し我々が此處に氣配付かず、何時でも組合を作らずホソヤリして居つたならば、我等の身の上は益々苦しくなるばかりか、終には未だ未だ此の苦しむ處から脱れることは出来ぬのである。近來外國は云ふ迄もなく、我が國に於てさうである。労働組合の運動が盛んになつて來たのも、全くこれが爲なのである。此の時に當つて我が西陣の如く互に互に多數の労働者が一ト所て働いて居る處に、未だ二の完全な労働組合も無いとは、之實に我々西陣織物労働者の此の上にもなき恥辱であるばかりか、非常にも大なる不利益である。茲に於て我々同志は前年西陣織物及會なるものを作つたのであるが、不幸にして途中で役員多數は僅の目録金の爲に西陣織物組合に買収され、今では労働者を食物とする資本家の御用組合となつてつたので、少し骨のある労働者は悉く涙を飲んで退き、今回新たに尤も理想的なる組織の下に西陣織物労働組合を作るに至つたのである。諸君は此の際是非共一番奮起して、一刻も早く本組合に入し西陣織物労働者の意氣と實力を示すと共に、互の幸福を圖るべく我等と共に盡すれん事を切に望む所である。

所込申會入

五辻千本東入南側 第一支部
 下長者町七本松西入南側 第二支部

大宮頭西裏堅社北半町
 西陣織物労働組合本部

第五章 加名及脱退

- 第十二條 本組合に加名シントス者、本組合規定ノ加名申込用紙ニ記名調印ノ上、入會金及會費ヲ添へ本支部又ハ支部へ申出スベシ
- 第十三條 本組合ニ脱退セントス者、其ノ理由ヲ明記シ、組合員章及徽章ヲ添へ本支部又ハ支部へ申出スベシ
- 第十四條 本組合總會ノ決議ヲ經ルニテアルシテ變更スル事ヲ得ス
- 第十五條 本團於大正十一年六月一日ヨリ施行ス

附 則

本會ノ會費ニ一ヶ月金拾拾錢トシ、入會金ノ金貳拾錢トス
 本團ニ規定ナリテ事項ニ對シテハ、委員會ニ於テ適當ノ體裁ヲ付トル事ヲ得

10.3.25
 新野 大塚